



発行

鎌倉市老人クラブ連合会

発行人 高橋 清良

編集人 都筑 健一

大橋 孝司

中田 良斌

高橋

〒248-8686

鎌倉市御成町18-10

鎌倉市老人クラブ連合会

(愛称・ゆめクラブ鎌倉)

(0467) 23-3000

(06) 6797-0212

第52号

印刷 (株)博報社 大阪市平野区喜連西4-6-69

浄妙寺

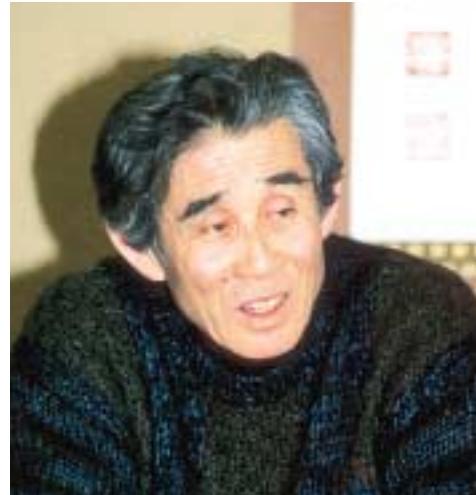
山号は稻荷山。臨済宗建長寺派。鎌倉五山第五位。足利尊氏の七代祖義兼が文治4年(1188)に創建した寺院で、初め極楽寺と称した。開山は退耕行勇、当初は真言宗密教系の寺院であったが、蘭溪道隆の弟子月峯了然が住職になってから禅刹に改めた。また、寺号も浄妙寺と称するようになった。

その後、たびたびの火災や戦火を受けて、浄妙寺は次第に衰退していった。

大正12年(1923)の関東大震災で、ほとんどの建物は倒壊した。

現在は、総門・本堂・客殿・庫裡などからなる伽藍で、稻荷山の額を掲げてある総門は禅刹の風格をもち、総門から本堂へ広がる静寂な境内は鎌倉五山第五位の寺格を保っている。

作家 佐江衆一氏 / 鎌倉市老連 高橋清良会長(於:浄妙寺)



佐江 いやいや、こちらこそ。老人クラブの皆さんには、僕よりはるかに経験をお持ちですか

高橋 ありがとうございます。「人生は五十歳からが面白い」とおっしゃる先生の生き方が、我々の活動のヒントになると思います。よろしくご教授の程お願い致します。

高橋 いやいや、こちらこそ。老人クラブの皆さんには、僕よりはるかに経験をお持ちですか

高橋 そうです。家は戦前の質屋でした。土地柄、お客様は踊り子や下位の力士が多く、花やしきや浅草ロッジが遊び場でしたから、ま

せていましたね。下町の人情や、男女の問題も子供の頃に知りました。



対談
六十歳からが
軽やかに、豊かに老いを生きるために
面白がる

いていくうちに、「社会派作家」と呼ばれるようになりました。

高橋 「横浜ストリートライフ」
(注)は、おいくつの時の作品ですか?

佐江 四十九歳の時です。僕は

「ドヤ街の
『老いの問題』」

高橋 「横浜ストリートライフ」
(注)は、おいくつの時の作品ですか?

佐江 四十九歳の時です。僕は

「ドヤ街の
『老いの問題』」

高橋 「横浜ストリートライフ」
(注)は、おいくつの時の作品ですか?

佐江 四十九歳の時です。僕は



「老人の『死に方』と『生き方』」

高橋 先生は「黄落」と「老熟家族」で、ご両親の介護をされた経験をお書きになっていますが、たいへん興味深く読みました。

佐江 僕は、母が「死にたい」と言つたので、最後の

「ムレスの老人は「市民の目につくところに寝て、迷惑をかけてはいけない。ルンペンにはルンペン道といふものがある」と言つていました。ルンペン道とはつまりルンペンの誇り、意地です。都会の仙人と思いました。金持ちより立派な人間。東北の人でした。

注「横浜ストリートライフ」：昭和五十八年に起きた中学生によるホームレス殺傷事件をきっかけに、自ら横浜のドヤ街でホームレスの人々と寝食を共にし、その経験を書いた作品。

高橋 先生は「黄落」と「老熟家族」で、ご両親の介護をされた経験をお書きになっていますが、たいへん興味深く読みました。

佐江 僕は、母が「死にたい」と言つたので、最後の

高橋 では、今度は老人の「生き方」についてお聞きします。六十五歳から七十五歳の前期高齢者で、外に出たがらず、家に閉じこもつてきります。

佐江 本人が家族に自分の意思を正しく伝えられるかにかかる理解がないと、なかなか難しいことですね。

高橋 そうです。どれだけ会員の皆さんも、自分のできる夢をそれぞれ持つべきです。ゴミを拾つて鎌倉をきれいにするのもひとつの大夢。人に認められるとか、そういうことではな

高橋 先生の著書「50歳から『生き方』」に「熟してたまるか！」と題して、その内容を紹介します。

佐江 出たがらない人は出ないで、流れる雲を見てもいい。定年後のことば、五十歳くらいから考えるべきです。老齢になつてから急に生き方を変えようとしても、そうそう変わりませんから。

僕の場合は、五年ごとに何かをやることにしていま

高橋 佐江先生の著書「50歳から『生き方』」に「熟してたまるか」という言葉が出てきますが、とてもいい言葉です。

高橋 これは、剣道八段の試験（合格率〇・八%、日本で一番難しい試験といわれている）を十七年間受け続けている、七十八歳の先生がおっしゃった言葉です。僕が「先生は実力があるんですから、段なん

高橋 佐江先生は今後どんなことをしようかお考

毎月の活動

月一度の集会のはじめに、誕生月の人たちに順番に自由にしゃべってもらつていふ（集会は、新年宴会、総会、慰靈祭、喜寿のお祝いなどの「樂寿会」、例会）。ここ五年続いているが、最近は堂々と自分史の一部を、また病気回復の報告などユーモアをまじえてなかなか上手にしゃべる

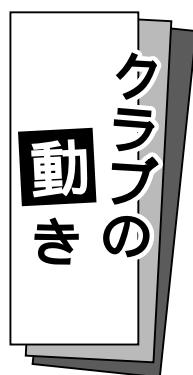


旧例を脱し
老いはまた
歓びなり

間のために尽くすべし……」当たり前のことをいつているのだけれど、押しつけ言葉には抵抗があつて、五年前、私が六十六歳で会長になつた時、日の丸・君が代・「延寿和讃」全部ご遠慮いただき、誕生会のあとにはハッピーバースデーを全員で唄つた。二十も三十も昔に比べ若返つた老人の

人（久米正雄・原節子など）の生き様」などを私が話し、会員の中からも、趣味の話・外地で得た面白い話など、外部からも「空巣撃退の心構え」など、また瀬戸内寂聴・日野原重明のテープ・ビデオも活用し、日常生活上・精神衛生上に何か役立つおみやげをさしあげたい一念だ。

なお、白寿会は、市から獅子舞の「老人農園」の運営を委託され、会員の三分の一は、二階堂以外の近隣地区の人である。昨年の総会で最多五十人の出席があり、例会は四十人位、以前は女性が圧倒的に多かったが現在は男女半々に近づいてきた。



（川崎）歩こう会（第二火曜日）を実施し、それぞれ二十名ほどの参加者で賑わっている。特に、昭和五十八年から二年半続いている歩こう会は、市内の他、道了尊・井の頭公園・神奈川宿歴史の道・観桜会など行き先に工夫を

離山ちとせ会では、会員相互の親睦を深めることをモットーに、さまざまな活動に取り組んでいます。

健康づくりとしては、ゲートボール（毎週月・水・金）

凝らしていること、そして訪問先の歴史・史蹟・鳥・花などについての現地解説が好評で、毎回学習意欲にわく参加



稻村力崎稻穂会

光明寺の法話

法話は、七月四日十時、十一時の約一時間、参加人員は六十二名。光明寺執事教務部長、阿川文叡様のお

三 今の子供は駄かできて
いない。親子の間で注意す
ると角が立つことも、おば
あさんが言えば素直に受け
とれることがある。挨拶の
仕方、靴の脱ぎ方など、子
供の躊躇について上手に教え
ることは、年寄りの仕事と
してあるのではないか。
などの法話がありまし

また教養・文化活動と奉仕活動としては、数年前から行っている「ちとせ句会」、花壇作り、古切手集め（昨年は八百枚収集）、クリーンデイでの空缶収集（年間六千缶）、地蔵堂の世話などを実施している。その他にも会員の二ーズにあつた活動を進めているが、特に会員から絶大な人気を得ているのは、毎月の定例会の中で行っている伴奏つきでの唱歌合唱。会長が奏するピアニカやオルガンに合わせて歌うもので、毎回五曲、年間のレパートリーは六十曲を超える。今後も唱歌合唱の上うな誰もが楽しく参加できるもの、また教養化を図りたいと考えている。

伊藤 仁

しにされた時「有難いことだ」と言われた。何故かと問うと「また違う所で布教ができる」。何事も前向きに良い方に解釈すれば、人生楽しく悩みなく生きることができるのでないか。

二、人は必ず死ぬ。足腰が立たなくなることがある。そうならない前に、できるだけ多くの人たちと話し合いい、友達になり、いざといふ時、孤独にならないよう、日頃の心掛けが大切。



九二三) 九月一日の関東大震災により重要建造物が被災し、修復工事が行われました。この度の修復工事は、この時以来七十二年ぶりの修復事業となりました。

その事業は永年、風雨にさらされ、社殿の傷みも激しく、当宮の歴史的、文化的価値の保全を図るために

などと棟梁や宮大工たちの願いが書かれておりました。中には家人の病気を気遣う文字などもあって感動致しました。ですから八幡様の社殿自体が建てられてゆく過程で、種々な願い、想いが込められて完成をみたものなのです。

松明と足元を照らす提灯のあかりだけで神職の「オー、オー」と発する警蹕と奏楽の音に導かれ、大きな絹垣に覆い囲まれた大神様が装いも改まつた御本殿へ

るといわれております。朱漆塗りを主調に極彩色が施され、大石段下の正面に舞殿形式の下拝殿が配されたものです。

以降、修復工事期間中には種々と文政年間の建造当時のものを眼にする機会を得ました。すなわち、屋根板、柱などには墨痕鮮やかに天下泰平、五穀豐饒

現在の鶴岡八幡宮の本殿は、文政四年（一八二二）一月に全焼して同十一年（一八二八）に再建されたもの。三間社三殿を連絡した流れ権現造りです。

本殿から幣殿（神職が神様に御奉仕するところ）、拝殿を樓門、廻廊が囲み、東西に脇門を持つ社殿形態は独自のもので、全体の構成から細部に至るまでの華やかなまとまりは、江戸時代の代表的な神社建築であ

は百年の大計を樹てて文化庁の指導を受けながら取り組むこととなり、まずは御本殿、楼門のお屋根葺き替え、漆塗替えの工事から実施されたのです。

秋、十一月二十一日夜、
本殿遷座祭を斎行致しました。それは、古く建久二年（一一九一）のむかし、源頼朝がそれまであった八幡様の社地（大石段下）を一段高く、大臣山を切り拓いて壯麗な鶴岡八幡宮を創建した十一月二十一日、「その日、その時」でした。

入御されました。この間
奉拝席の参列者は大神様が
眼前をお通りになると恐れ
多い御神威を、それぞれに
感じたことでした。

そして、あかりの消えた
境内の空は降るような満天
の星が、きらきらと輝いて
おりました。

約五百人の参列者は大石段を昇つて楼門内、廻廊の参列席に移動しました。御木殿ご神座にお鎮まりになつた大神様へお供物が献じられ、祝詞奏上、参列者代表久保田雅彦鎌倉商工会議所会頭の玉串拝礼ののち、御本殿隣の末社・武内社に対しても献饌、祝詞奏上、玉串拝礼。そのあと、鎌倉市舞が奏され、本殿遷座祭は厳粛のうちに滞りなく終

祭典終了後、研修道場において七十三年ぶりの御本殿遷座祭の無事斎行を祝して直会が盛大に催されました。

朝田に輝く赤銅色の御屋根に、軒飾の色も鮮やかな朱の社殿の佇む姿は、御神慮に叶い、ますます御靈の幸を垂れ給つものと確信致しております。

奉幣祭を終了しました。
古来、神様は遷座祭のよ
うな重儀の「ご奉仕をお受け
になると若返られると信じ
られてあります。若返った
御本殿には若返った大神様
が改めて、お鎮まりになっ
たわけです。

本殿遷座奉幣祭が厳しく
斎行されました。神饌が供
えられ、続いて御幣帛が神
前に供され、祝詞奏上のの
ち、神社本庁幣が奉られ、
献幣使の祭詞奏上、上野豊
当宮責任役員らの玉串拝礼
があつて無事、御本殿遷座

翌二十二日は畏くも天
皇陛下より幣帛料が御下賜
され、各界代表、奉賛会役
員、氏子崇敬者ら約六百人
が参列、午前十時より　御



丸山定夫

懐かしい人も少なくないた
わが国の新劇運動は、明治
末期の坪内逍遙・島村抱月に
よる「文芸協会」の設立には
じまり、小山内薫の「自由劇
場」が火ぶたをきつた。さら
に抱月と松井須磨子による
「芸術協会」を経て、大正十三
年の築地小劇場の開場で本格
的な黎明を迎えるのである。
西園寺家の爵位を継いだ士
方与志は、学生時代から演出
家を志し、大正十二年渡欧し、
て舞台芸術研鑽中、関東大震
災で急拵帰国、予定を変えて
残り九年間の滞在費を投じて、
ヨーロッパ近代戯曲の本格的
移植を当面の目的とし、定員
四百六十八のゴシック・ロマ
ネスク様式の劇場を築地に建
てる。創業時の同人は士方・
小山内・友田恭助・汐見洋・
青山杉作などで、研究生とし
て丸山定夫・山本安英、岸
澤修・東山千栄子、
滝澤輝子・村瀬幸子、
春村春子が参加した。その活動は五年

（一九〇一年）松山に生まれる。地元新聞の編集長だった父を小学校二年の時失い、就職して各地にいる兄たちのもとに寄宿して、万般の職を経験。苦難の日々を送る偏ら読書・詩作にふけった。しばらくの放浪の後、歌うことが好きで地方廻りのオペレッタ一座や、青い鳥歌劇団に入り、震災後は根岸歌劇団に加わった。北海道で榎本健一と親友になり、意氣投合する。

大正十三年東京に帰った時、築地小劇場創立と研究生募集を知り、土方邸（創立事務所
養成所）を訪問、研究生となる。六月の旗上げ公演では出演しなかつたが、開幕を告げる銅鑼を鳴らし、これはまた、自らへの新しい人生の開幕の合図でもあつた。貧乏なので宿直員となり、人のいない舞台で发声練習、ピアノも独占できて役者への精進を日夜怠らなかつた。

第二回公演「狼」の初舞台で兵士役、以降必ず役がついて四ヶ月後のゴーリキーの「夜の宿」のルカで頭角を現し、イプセンの「社会の敵」では主役を演じた。劇団の中でも最も出演回数の多い性格俳優

立・近代俳優の養成とその後の日本演劇に計りしれない影響を与えた。この間翻訳物九、創作劇二十七が上演され、チエーホ・イイフセン・モリエール・ゴーリキーなどが十八番となる。

築地にひびく 銅鑼を鳴らす

新劇の団十郎・丸山定少



妙隆寺に眼

か
か
つ
た
が、
演
出

として重用される。
実業家の御曹子と結婚し、
有閑生活にあきたらなくなり、
偶々見に来た新劇に細川知歌
子（ちか子）は、自らの生き甲
斐を求めて入団してしまつ。
夫から身を隠すのを手伝つた
ことから丸山と急接近、細川

の離婚を待つて二人は所帯を持つ。二人は長らく舞台・映画に数多く共演し、丸山は夫、先輩、そしてライバルでもあつた。

山・細川は土方と行動を共にし、「新築地劇団」(「廬田新築地」)を結成し、丸山は中心的俳優として分裂(山本安英・伊藤慶一・高橋豊子・丸山は田村白・高橋豊子・丸山は田村白)。

劇化し、この左傾化への弾圧は激しくなり、上演禁止が増える。こうして経営難、給与未払もあって、悪いことに細川が肺炎で倒れ、窮した丸山は薬代稼ぎに劇団在籍のまま、エノケンに助けを求める。彼

は丸山に百円与え、福田良介の名で出演させる。この時「おちかはねている、そして丸山定夫は自殺した」と自嘲の

文章を「婦人公論」（一月号）に載せた。エノケン一座には半年ほど
の出演だったが、回復した細川は舞台に映画に復帰したが、
翌年入籍しないまま離別する。
八年東宝の前身P・C・L
がトーキー映画の製作を開始

十九年一月 大連での公演の時花束を送ったという梅原房子という女性が現れて、一年ほど交際したのちに細川のあと十年間結婚生活をしていた関原利江（国立音楽学校卒、舞台効果をやっていて知りたつ）と二十年五月協議離婚し、最後の愛人梅原と生活する。

し、丸山（細川も）は専属契約して、ほぼ十年間に五十五本の映画で幅広く役をこなした。なかでも六本目の成瀬の「妻よ薔薇のごとく」（この年のキネ旬選出。1）は屈折する父親役を見事に演じ、翌十一年の犀星原作の「兄いもうと」は竹久千恵子の妹と、とつ組みあいの喧嘩をしながらの兄妹愛の表現が印象に残る名場面だった。この頃も彼は併行して舞台に出演、演出も手掛けたが、四十年八月新築地劇団は新協劇団ともに強制解散させられ、十二年の幕を降ろす。

終戦の年、移動演劇桜隊が結成各地を廻りはじめる。月下旬島根・鳥取と広島を拠地に中国地方へ出発するが途中丸山は湿性肋膜炎を発症し、高熱をおして熱演後広島に戻る。そして運命の八月、日に遭遇、十日間の苦悶の後、厳島の存光寺の庫裡で四十四歳の生涯を閉じる。

桜隊で丸山の弟子、鉄信は最後の巡演には参加してはなかつた。妙隆寺が檀家の彼は、梅原房子から丸山の遺骨の埋葬を頼まれる。その後四年丸山の知友百七十三、の釀金により、本郷新の彫刻藤森成吉の碑文で建立された。

富島松五郎伝(無法松)の丸山と杉村



藏心丸 改情く害ノ

多者図書
等にはひび
蟲」(藤本恵子)・「俳優・丸
走夫の世界」(菅井幸雄・編)
一階堂白寿会 門田 京藏



平成15年度功労者のつどい

3クラブ151名が表彰 横口恵子先生の講演も

一日、生涯学習センターホールで、平成十五年度功労者のつどいが開催された。

第一部の式典では、高橋市老連会長が「鎌倉市老連は、創立以来三十九年間多彩な活動をしてきました。長年にわたり活動を支えてくれました皆さんへの感謝の気持ちを込めて表彰いたします」と挨拶。今

年は優良老人クラブの三クラブ、五年在職功労会長十一名、特別表彰者三名、一般会員功労者百三十七名が表彰を受けた。中でも、百歳を迎えた特別表彰者三名（うち一名は代理）が壇上にあがると、場内は大きな歓声が

ありました。長年にわたり活動を支えてくれました皆さんへの感謝の気持ちを込めて表彰いたします」と挨拶。今年は優良老人クラブの三クラブ、五年在職功労会長十一名、特別表彰者三名、一般会員功労者百三十七名が表彰を受けた。中でも、百歳を迎えた特別表彰者三名（うち一名は代理）が壇上にあがると、場内は大きな歓声が

講演（要旨） 人生百年を生きる 覚悟と責任

講師 横口 恵子先生
(評論家・東京家政大学
名誉教授)

きと拍手に包まれた。第二部の講演会には、評論家で東京家政大学名誉教授の横口恵子先生をお招きした。長年高齢者は笑つたり、深くうなづいたりしながら熱心に聞き入っていた。

人間は、いつ、どこに、どの性で生まれるか選べません。生きる意味は、誰に定義されるのでもなく、自分で見つけるものなのです。さすがに七十歳で都知事選に出馬するとは思つていませんでした。六十五で死んでいたらできなかつた、異論は言うべきと立候補たが、少数派であろうと面白い経験ができました。これからも、一個人、一有権者として、生涯現役でいたいと思います。

惠、この三つが大切です。つまり、変わることを恐れず、今を生きる覚悟を持つことです。

日本海の潮風を受けながら咲く赤白黄の大輪の花の健気さに心打たれ、同時に旅情を和らげられた。そばに何千個もの新旧の南京錠の下がった柵がつたけれど意味は判らない。下方に見える五湖の中の二湖には海水がまじり三湖は淡水という。湖畔には梅林が多い。ここは青梅の名産地だとか。

バスは小浜市、舞鶴市の郊外や山地を走って宮津ローヤルホテルへ着いた。外はもう暗くなつており、夕食は海の幸とカラオケで楽しんだ。

十八日は日本三景の一つ、音羽の滝へ行く。行列してコップを求めて参拝客がコップに長い柄を付けて滝の水を受けている。これが清水のものとなす諸願成就の靈水である。

清水寺を出てバスはトロッコ列車の嵯峨駅へ急ぐ。桂川の土堤道はひどい車の渋滞で歩いて近道を駆けた。予定外の嵯峨野の散策もまた楽しめた。

トロッコ列車は愉快な乗り物だつたけれど、有名な保津川の紅葉は時期が少し早くて見られなかつた。ホテルへ着くのは遅くなつた。

十九日は八時出発して京都の清水寺参詣

へ抜け、ケーブルで天の橋立の景観を見下ろす笠

松公園へ登る。空気も爽やかで心が洗われた気分。

天の橋立が眼下一線に見える。

午後は、一九七〇年に日本が初めて高齢化社会の仲間入りをし、その後も次々と各国が続いています。二十一世紀は、アジアの高齢化社会の世紀なのです。この恵まれた人生をどう生きていくか、日本はアジアに示しています。この世の中にはたくさん必要があります。

日本の人口の未来予測では、二〇五〇年の六十歳以上の人口は全体の三五・七パーセント、平均寿命は男性八十一歳、

女性八十九歳。五人に一人がおばあさんです。「老婆（老爺）は一日にして成らず」。後半の五十年の問題に携わってこられた横口先生の熱弁に、来場者は笑つたり、深くうなづいたりしながら熱心に聞き入っていた。

人間は、いつ、どこに、どの性で生まれるか選べません。生きる意味は、誰に定義されるのでもなく、自分で見つけるものなのです。さすがに七十歳で都知事選に出馬するとは思つていませんでした。六十五で死んでいたらできなかつた、異論は言うべきと立候補たが、少数派であろうと面白い経験ができました。これからも、一個人、一有権者として、生涯現役でいたいと思います。

惠、この三つが大切です。つまり、変わることを恐れず、今を生きる覚悟を持つことです。

日本海の潮風を受けながら咲く赤白黄の大輪の花の健気さに心打たれ、同時に旅情を和らげられた。そばに何千個もの新旧の南京錠の下がった柵がつたけれど意味は判らない。下方に見える五湖の中の二湖には海水がまじり三湖は淡水という。湖畔には梅林が多い。ここは青梅の名産地だとか。

バスは小浜市、舞鶴市の郊外や山地を走って宮津ローヤルホテルへ着いた。外はもう暗くなつており、夕食は海の幸とカラオケで楽しんだ。

十八日は日本三景の一つ、音羽の滝へ行く。行列してコップを求めて参拝客がコップに長い柄を付けて滝の水を受けている。これが清水のものとなす諸願成就の靈水である。

清水寺を出てバスはトロッコ列車の嵯峨駅へ急ぐ。桂川の土堤道はひどい車の渋滞で歩いて近道を駆けた。予定外の嵯峨野の散策もまた楽しめた。

トロッコ列車は愉快な乗り物だつたけれど、有名な保津川の紅葉は時期が少し早くて見られなかつた。ホテルへ着くのは遅くなつた。

十九日は八時出発して京都の清水寺参詣

へ抜け、ケーブルで天の橋立の景観を見下ろす笠

松公園へ登る。空気も爽やかで心が洗われた気分。

天の橋立が眼下一線に見える。

午後は、一九七〇年に日本が初めて高齢化社会の仲間入りをし、その後も次々と各国が続いています。二十一世紀は、アジアの高齢化社会の世紀なのです。この恵まれた人生をどう生きていくか、日本はアジアに示しています。この世の中にはたくさん必要があります。

日本の人口の未来予測では、二〇五〇年の六十歳以上の人口は全体の三五・七パーセント、平均寿命は男性八十一歳、

女性八十九歳。五人に一人がおばあさんです。「老婆（老爺）は一日にして成らず」。後半の五十年の問題に携わってこられた横口先生の熱弁に、来場者は笑つたり、深くうなづいたりしながら熱心に聞き入っていた。

人間は、いつ、どこに、どの性で生まれるか選べません。生きる意味は、誰に定義されるのでもなく、自分で見つけるものなのです。さすがに七十歳で都知事選に出馬するとは思つていませんでした。六十五で死んでいたらできなかつた、異論は言うべきと立候補たが、少数派であろうと面白い経験ができました。これからも、一個人、一有権者として、生涯現役でいたいと思います。

惠、この三つが大切です。つまり、変わることを恐れず、今を生きる覚悟を持つことです。

日本海の潮風を受けながら咲く赤白黄の大輪の花の健気さに心打たれ、同時に旅情を和らげられた。そばに何千個もの新旧の南京錠の下がった柵がつたけれど意味は判らない。下方に見える五湖の中の二湖には海水がまじり三湖は淡水という。湖畔には梅林が多い。ここは青梅の名産地だとか。

バスは小浜市、舞鶴市の郊外や山地を走って宮津ローヤルホテルへ着いた。外はもう暗くなつており、夕食は海の幸とカラオケで楽しんだ。

十九日は八時出発して京都の清水寺参詣

へ抜け、ケーブルで天の橋立の景観を見下ろす笠

松公園へ登る。空気も爽やかで心が洗われた気分。

天の橋立が眼下一線に見える。

午後は、一九七〇年に日本が初めて高齢化社会の仲間入りをし、その後も次々と各国が続いています。二十一世紀は、アジアの高齢化社会の世紀なのです。この恵まれた人生をどう生きていくか、日本はアジアに示しています。この世の中にはたくさん必要があります。

日本の人口の未来予測では、二〇五〇年の六十歳以上の人口は全体の三五・七パーセント、平均寿命は男性八十一歳、

女性八十九歳。五人に一人がおばあさんです。「老婆（老爺）は一日にして成らず」。後半の五十年の問題に携わってこられた横口先生の熱弁に、来場者は笑つたり、深くうなづいたりしながら熱心に聞き入っていた。

人間は、いつ、どこに、どの性で生まれるか選べません。生きる意味は、誰に定義されるのでもなく、自分で見つけるものなのです。さすがに七十歳で都知事選に出馬するとは思つていませんでした。六十五で死んでいたらできなかつた、異論は言うべきと立候補たが、少数派であろうと面白い経験ができました。これからも、一個人、一有権者として、生涯現役でいたいと思います。

惠、この三つが大切です。つまり、変わることを恐れず、今を生きる覚悟を持つことです。

日本海の潮風を受けながら咲く赤白黄の大輪の花の健気さに心打たれ、同時に旅情を和らげられた。そばに何千個もの新旧の南京錠の下がった柵がつたけれど意味は判らない。下方に見える五湖の中の二湖には海水がまじり三湖は淡水という。湖畔には梅林が多い。ここは青梅の名産地だとか。

バスは小浜市、舞鶴市の郊外や山地を走って宮津ローヤルホテルへ着いた。外はもう暗くなつており、夕食は海の幸とカラオケで楽しんだ。

十九日は八時出発して京都の清水寺参詣

へ抜け、ケーブルで天の橋立の景観を見下ろす笠

松公園へ登る。空気も爽やかで心が洗われた気分。

天の橋立が眼下一線に見える。

午後は、一九七〇年に日本が初めて高齢化社会の仲間入りをし、その後も次々と各国が続いています。二十一世紀は、アジアの高齢化社会の世紀なのです。この恵まれた人生をどう生きていくか、日本はアジアに示しています。この世の中にはたくさん必要があります。

日本の人口の未来予測では、二〇五〇年の六十歳以上の人口は全体の三五・七パーセント、平均寿命は男性八十一歳、

女性八十九歳。五人に一人がおばあさんです。「老婆（老爺）は一日にして成らず」。後半の五十年の問題に携わってこられた横口先生の熱弁に、来場者は笑つたり、深くうなづいたりしながら熱心に聞き入っていた。

人間は、いつ、どこに、どの性で生まれるか選べません。生きる意味は、誰に定義されるのでもなく、自分で見つけるものなのです。さすがに七十歳で都知事選に出馬するとは思つていませんでした。六十五で死んでいたらできなかつた、異論は言うべきと立候補たが、少数派であろうと面白い経験ができました。これからも、一個人、一有権者として、生涯現役でいたいと思います。

惠、この三つが大切です。つまり、変わることを恐れず、今を生きる覚悟を持つことです。

日本海の潮風を受けながら咲く赤白黄の大輪の花の健気さに心打たれ、同時に旅情を和らげられた。そばに何千個もの新旧の南京錠の下がった柵がつたけれど意味は判らない。下方に見える五湖の中の二湖には海水がまじり三湖は淡水という。湖畔には梅林が多い。ここは青梅の名産地だとか。

バスは小浜市、舞鶴市の郊外や山地を走って宮津ローヤルホテルへ着いた。外はもう暗くなつており、夕食は海の幸とカラオケで楽しんだ。

十九日は八時出発して京都の清水寺参詣

へ抜け、ケーブルで天の橋立の景観を見下ろす笠

松公園へ登る。空気も爽やかで心が洗われた気分。

天の橋立が眼下一線に見える。

午後は、一九七〇年に日本が初めて高齢化社会の仲間入りをし、その後も次々と各国が続いています。二十一世紀は、アジアの高齢化社会の世紀なのです。この恵まれた人生をどう生きていくか、日本はアジアに示しています。この世の中にはたくさん必要があります。

日本の人口の未来予測では、二〇五〇年の六十歳以上の人口は全体の三五・七パーセント、平均寿命は男性八十一歳、

女性八十九歳。五人に一人がおばあさんです。「老婆（老爺）は一日にして成らず」。後半の五十年の問題に携わってこられた横口先生の熱弁に、来場者は笑つたり、深くうなづいたりしながら熱心に聞き入っていた。

人間は、いつ、どこに、どの性で生まれるか選べません。生きる意味は、誰に定義されるのでもなく、自分で見つけるものなのです。さすがに七十歳で都知事選に出馬するとは思つていませんでした。六十五で死んでいたらできなかつた、異論は言うべきと立候補たが、少数派であろうと面白い経験ができました。これからも、一個人、一有権者として、生涯現役でいたいと思います。

惠、この三つが大切です。つまり、変わることを恐れず、今を生きる覚悟を持つことです。

日本海の潮風を受けながら咲く赤白黄の大輪の花の健気さに心打たれ、同時に旅情を和らげられた。そばに何千個もの新旧の南京錠の下がった柵がつたけれど意味は判らない。下方に見える五湖の中の二湖には海水がまじり三湖は淡水という。湖畔には梅林が多い。ここは青梅の名産地だとか。

バスは小浜市、舞鶴市の郊外や山地を走って宮津ローヤルホテルへ着いた。外はもう暗くなつており、夕食は海の幸とカラオケで楽しんだ。

十九日は八時出発して京都の清水寺参詣

へ抜け、ケーブルで天の橋立の景観を見下ろす笠

松公園へ登る。空気も爽やかで心が洗われた気分。

天の橋立が眼下一線に見える。

午後は、一九七〇年に日本が初めて高齢化社会の仲間入りをし、その後も次々と各国が続いています。二十一世紀は、アジアの高齢化社会の世紀なのです。この恵まれた人生をどう生きていくか、日本はアジアに示しています。この世の中にはたくさん必要があります。

日本の人口の未来予測では、二〇五〇年の六十歳以上の人口は全体の三五・七パーセント、平均寿命は男性八十一歳、

女性八十九歳。五人に一人がおばあさんです。「老婆（老爺）は一日にして成らず」。後半の五十年の問題に携わってこられた横口先生の熱弁に、来場者は笑つたり、深くうなづいたりしながら熱心に聞き入っていた。

人間は、いつ、どこに、どの性で生まれるか選べません。生きる意味は、誰に定義されるのでもなく、自分で見つけるものなのです。さすがに七十歳で都知事選に出馬するとは思つていませんでした。六十五で死んでいたらできなかつた、異論は言うべきと立候補たが、少数派であろうと面白い経験ができました。これからも、一個人、一有権者として、生涯現役でいたいと思います。

惠、この三つが大切です。つまり、変わることを恐れず、今を生きる覚悟を持つことです。

日本海の潮風を受けながら咲く赤白黄の大輪の花の健気さに心打たれ、同時に旅情を和らげられた。そばに何千個もの新旧の南京錠の下がった柵がつたけれど意味は判らない。下方に見える五湖の中の二湖には海水がまじり三湖は淡水という。湖畔には梅林が多い。ここは青梅の名産地だとか。

バスは小浜市、舞鶴市の郊外や山地を走って宮津ローヤルホテルへ着いた。外はもう暗くなつており、夕食は海の幸とカラオケで楽しんだ。

十九日は八時出発して京都の清水寺参詣

へ抜け、ケーブルで天の橋立の景観を見下ろす笠

松公園へ登る。空気も爽やかで心が洗われた気分。

天の橋立が眼下一線に見える。

午後は、一九七〇年に日本が初めて高齢化社会の仲間入りをし、その後も次々と各国が続いています。二十一世紀は、アジアの高齢化社会の世紀なのです。この恵まれた人生をどう生きていくか、日本はアジアに示しています。この世の中にはたくさん必要があります。

日本の人口の未来予測では、二〇五〇年の六十歳以上の人口は全体の三五・七パーセント、平均寿命は男性八十一歳、



たのしい、
たまり場の開設
腰越第三たのしみ会
宝善院さんご好意で、
客間を定期的にお借りする
ことができました。

ここを溜り場にして、新
しいお友達とのお話を楽し
みながら、皆様方得意の手
芸(折紙人形、その他)を
教えられたり、教えたり。

笑い声が客間に響き、和
氣に満ち、友情は親密さを
増し、頼りになる、仲間が
できる、たまり場です。

石坂 くに江

トピック 「居場所づくり」の 取り組みがスタート

市老連の推進する「居場所づくり」の取り組みが各地域で本格化している。昨年度から実施された2例を紹介する。



広さはトイレ台所を含め
て二十畳位で飾り棚に古美
術品額などがあり部屋の造
りはフローリングに絨毯応
接間造りになっています。

にと、一軒家を名前も
一休でしたしめやすく、
開放してくれました。

手広喜楽会
休

わやかサロン

地域住民のための社交場サロンの開設に支援します。

地域の方が歩いていける
場所で、地域の方とふれあ
うことにより見守り支えあ
う地域作りを目指し、老人
開設する

クラブ連合会では、開設す
る単位老人クラブに対し支
援していきます。

文
芸俳句

腰越第一笹りんどう会 中久喜たい
大きいなる夢をかかげて年明ける

神仏に委ねし余生初詣

平凡に月日流れて小正月

春めきて海きらきらと無人駅(鎌高前)

腰越第一笹りんどう会 八原まさ子
十一月八日を語る人老いて

笹鳴の何を好んで坪庭に

古寺に人の声して梅香る

山の端に静かに夕日冬至かな

急ぐ事何も無き日や猫の恋

腰越第一笹りんどう会 志摩 悅子

立春の街見下して露座観音

冬ざれの一村守る道祖神

冬晴や坑に濡身の鳥二、三

リスは木に下手ななき声ゆづを手に

寒明けて雲はゆつくり動き出す

山ノ内梅鶯会 松岡美代子

ひそやかに命束ねし蝌蚪の紐

日脚のび小さきゆとり生れけり

春光をのせつ揺れつ瀬の流れ

山ノ内梅鶯会 坂井ちか子

花所望「太郎冠者」なる椿活け

シクラメン古き調度もはんなりと

門川に春鴨番い遊びをり

山ノ内梅鶯会 山下かよ子

白樺の霧より白し百千鳥

白樺の霧より白し百千鳥

山ノ内梅鶯会 高橋 照子

●高齢者向け乗車証の購入費を助成します●

鎌倉市では、平成15年度から「鎌倉市高齢者バス割引乗車証購入費助成事業」を実施していますが、16年度からは江ノ電電車を含め助成します。

対象となる方 平成16年5月1日現在、75歳以上で鎌倉市内に住所を有する方。

購入できる期間 平成16年6月1日から12月31日まで。

助成額 1人年1回2,000円

《助成対象となる高齢者向け乗車証の概要》

会社名	乗車証名称	利用運賃等	券種と助成前販売額	購入時に必要なもの
江ノ電バス	オレンジワンコインバス	運賃(1乗車毎に) 現金100円 *空港バス・定期遊覧・貸切バスを除く	3ヶ月(3,000円) 6ヶ月(5,000円)	助成券・本人確認書類(免許証・保険証等)
神奈中バス	かなちゃん手形	運賃(1乗車毎に) 現金100円 *空港バス・高速バス・深夜急行バス等を除く	3ヶ月(3,000円) 6ヶ月(5,000円) 1年(9,000円) (販売日・有効期限日が決まっています)	助成券・本人確認書類(免許証・保険証等) 顔写真(脱帽・1年以内・25×25) 本人のみ購入可能
京急バス	ふれあいバス	運賃(1乗車毎に) 支払いなし *空港バス・高速バス・深夜急行バス等を除く	3ヶ月(12,000円) 6ヶ月(20,000円) (6ヶ月券は販売日・有効期限日が決まっています)	助成券・本人確認書類(免許証・保険証等) 顔写真(24×30)
江ノ電電車	おでかけ電車回数乗車券	回数券による支払	5,000円 (回数券の有効期限は購入日から平成17年5月31日まで)	助成券・本人確認書類(免許証・保険証等)

《高齢者向け乗車証販売場所及び問合せ先》

会社名	乗車証販売場所	問合せ先
江ノ電バス	鎌倉市内各営業所 鎌倉市内各販売所	0466(24)2714(本社)
神奈中バス	大船駅西口サービスセンター 大船駅東口サービスセンター	0467(43)5698(代表) 045(891)3843(代表)
京急バス	鎌倉営業所 鎌倉駅前販売所(乗車証は、翌日渡しとなります)	0467(23)2553 (鎌倉営業所)
江ノ電電車	江ノ島電鉄の次の駅 鎌倉・長谷・極楽寺・稲村ヶ崎・七里ガ浜・腰越	0466(24)2713(本社)

購入した乗車証および回数券は、払戻し・返品できませんので、利用する路線等をよく確認して購入してください。

市から送られた助成券は、他人に貸与又は譲渡することはできません。

助成券は再発行しませんので、お取り扱いには十分ご注意ください。

一部乗車証については、販売日の指定がありますので、ご注意下さい。

鎌倉市ファミリーサポートセンター ファミリーサポートセンターでは、家事援助及び専門的な介護を要しない程度の外出支援(付き添い)などを行います。利用を希望される方は、会員登録が必要となります。入会金・年会費は無料です。

詳しい内容は、直接センターへお問い合わせ下さい。電話43-5401

ついのすみか

稻村ガ崎稻穂会

渡部 光治

これがまあ終の栖か雪五尺
一茶
は風光明媚なところです。
洋々たる海あり、山が海まで
迫り、夏涼しく、冬暖かい理
想的な環境です。
東京から

言うまでもなく、稻村ガ崎
は、山・富士山と眺めは、実に雄
大です。
大です。
ここに移しました。田舎の両
親も喜んで、気候にも恵まれ
た土地だから未永く住むよう
にと言つて亡くなりました。
当時、私は三十歳半ば過ぎ
の血氣盛んなときで、良い住
まいを得て、働くことに生き
甲斐を感じ、将来は、息子に
いい嫁さんを迎える、老後はな
んの不自由もなく、斜面なが

り下りにも苦痛を感じ、傾斜
面の除草・植木の剪定も楽し
みだけではなくて、私の
後継者は必ずしも、私の
趣味嗜好と一致するとは限り
ません。頼れるのは自分だけ
です。
最近、駅前に建つ分譲マン
ションの広告が目につき、気
になるようになりました。

鎌倉を住まいとし、藤沢駅
前のマンションを隠居所で
生きれば老後の人生も一段と樂
しく、元氣に長生きできるの
ではないでしょうか。
とは言つても、これは余裕
のある人のことで、私にはと
ても望めないことですが。不
自由ながら、歴史ある風光明
媚な土地に骨を埋めること
が、幸せと思いながら。

これがまあ終の栖か五十段
光治
は以前から住まいは戸建てに
限る、と思い込んでいました。
人間元気なうちはそう考
るの、が当然でしょう。しかし、
現役を引退し、老齢化してく
ると、当然、考え方が変わつ
ます。体力に見合った生活
をとつても、絶対に活動に不自
由は感じない、と思つていま
した。

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.

.



今号のやまももさん

寺分楓会
沼井金秋さん(100歳)立された年に設立され
昭和四十年に町内会長を勤め、以前は
五年に町内会長を勤め、以前は

明治三十六年八月二十九日生まれの沼井さんは、生まれも育ちも鎌倉で、先祖は五百年以上前から鎌倉に住んでいたらしいという、生粋の鎌倉人。小学校を卒業してからずっと農業にた

ずさわり、実に八十五年以上のキャリアを持つ。長男の利雄さんも「父の作る野菜にはかなわない」と脱帽するほど。現在も畑に出て野菜を作り続けているが、この畑仕事が健康の秘訣となる。

寺分楓会では、昭和六十三年までの約十年間、三代目会長として活躍した。老人クラブの旅行では、得意の謡で鍛えた喉を活かし、当時の流行歌をカラオケで歌つたそうだ。ちなみに、現会長の大野秀夫さんは娘婿に当たる。大野会長は「百歳になつた今でも背筋が伸びていて、近所でも評判なんですよ」と語る。

利雄さん夫婦と孫三人と一緒に居しているが、家の離れて寝起きし、身の回りのこ

院光照寺と号し、北鎌倉に入りにあたつての法難靈場であり、開山は一遍上人の弟子一向俊聖上人であつた

石段を登り、山門でまず目につくのが、山門の欄間に取り付けられた「中川久留子」といわれるクルス紋である。しかし、この山門は最初から光照寺にあつたものではなく、台山にあつた東溪院が明治五年に廃寺となり、本尊の釈迦如来座像と山門が光照寺に移され

ある。当山は、一遍上人が弘安五年(一二八二)鎌倉に入りにあたつての法難靈場であり、開山は一遍上人の弟子一向俊聖上人であつた

鎌倉散歩 光照寺 そのクルス紋が不思議



たのである。

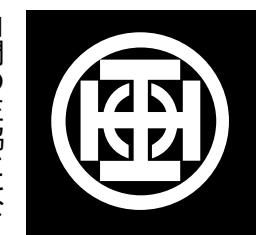
東溪院は、豊後国岡城の城主中川久清が娘の供養のために建立した菩提寺で、

誰々の母、誰々の母とびつしり刻みつけた子育て地蔵があり、往時農村の母親の子育てにかける熱い思いが伝わってくる。

山門に家紋の「丸に轡紋」を付けたのだ。十字形を基本とすることから「中川久留子」といわれるようになつたと思われる。それ

は別にしても不思議なことに、寺には昔から伝わる切支丹用の大小の燭台があり寺では今でも使つていて。山門の右脇には、台座に

山門の左脇には、見落としそうな小さな石の祠がある。これが「おしゃぶきさま」で毎日お参りすると年寄りや子供の咳の病は治つてしまつという。



中川久留子(図)

原稿募集・投稿規定

会員の皆様からのご投稿をお願いいたします。

原稿用紙は「やまもも」専用紙(12字×13行)使用。

用紙は編集部宛て請求下さい。

単位クラブ活動紹介

百三十字まで。活動の様子を写した写真二枚添付。

「文芸」エッセイ、詩、短歌、俳句、川柳など。エッセイは六百字程度。

「鎌倉観光スポット」観光客にあまり知られていないが、ぜひ紹介したいスポット。

六百六十字まで。写真二枚添付。

原稿締め切りは平成十六年七月三十一日。

紙面割りの都合で、原稿の

採用、内容の一部修正等についてはご一任願います。

原稿等は返却いたしません。

等は返却いたしません。

等は返却いたしません。